

公益財団法人日本自然保護協会との連携

当社グループでは公益財団法人 日本自然保護協会(以下、日本自然保護協会)へ入会し、自然との触れ合いを通じて未来を担う子どもたちの成長支援や生物多様性の保全とネイチャーポジティブな社会の実現に向けた連携を行っています。



母と子のネイチャースクールin只見



母と子のネイチャースクールは東京電力福島第一原子力発電所の事故により影響を受けている地域に暮らす母子を対象に、子どもたちがのびのびと外で遊んだり自分らしく成長するための機会の提供を目的として、2013年から開催しています。東日本大震災から10年以上が経過し被災地の状況も変化してきていることから、現在では福島の未来を担う子どもたちにユネスコエコパークに登録されている福島県只見町で、思いきり自然や文化にふれあい、「自然を守ること」や「人と自然のつながり」の大切さとその価値について理解を深めていただく自然体験プログラムを提供しています。

主なプログラム内容

湿地再生活動&里山生き物探し

只見町に広がる豊かな里山里山の自然環境では、年々休耕田が増えています。田んぼの様な湿地環境は生物を育む重要な場所のため、泥んこ遊びをしながら休耕田を湿地に変えるという生物多様性に繋がる取組みを行い、里山里山の自然環境の重要性を学びます。泥んこ遊びの最後には生きもの探しも行い、前年と比べどれだけ生きものが増えたかなどを見える化することで、自分達の取組みの成果を実感しています。

2024年にはこの取組みにより、町の重要地域の1つに位置付けられている「布沢の田んぼ(0.01ha)」において、町民及び町外の参加者約40人と共に水田生態系の保全再生活動を進めることができました。

只見町は、ユネスコエコパーク管理運営計画及び行動計画を定めており、ネイチャーポジティブ認証自治体となっています。この活動が、昆明・モントリオール生物多様性枠組(GBF)ターゲット「3. 陸と水域・海の30%の保全」への貢献として評価されたため、日本自然保護協会及び福島県只見町より連名の2024年度「ネイチャーポジティブ貢献証書」を受領しました。



会津の香りワークショップ

福島県産の木材を中心とした10種の香りをブレンドしたアロマスプレーづくりを体験。



ただみ・ブナと川のミュージアム見学

ブナを中心とした自然環境とその自然を巧みに利用し暮らしてきた先人の知恵と技術を学びます。



ブナの森の自然観察&川遊び

世界に誇る只見のブナ原生林の森で自然観察と川遊びを行います。



夜の虫の観察会&星空観察

ライトトラップ*で虫の観察を行ったり、国立天文台の先生に解説いただきながら星空を観察し、只見町の価値を実感できるプログラムを提供しています。

※只見町からの特別な許可を得て実施しています。虫はその場で開放しています。



地元食材を使った食事の提供

只見町の食材やとれたての野菜をふんだんに使用したマトンバーベキューやピザ・パスタ等の食事を提供し、只見町の自然の素晴らしさを味わっていただいています。



お母さまにリラックスしてもらう Nature Tea Party

ネイチャースクールに申し込んだきっかけや、スクール中の子どもの変化、子どもの成長に感動したことを語り合います。普段一緒にいることができる時間が少ない家庭などでは3日間一緒に全力で楽しめたことなど、涙ながらに振り返ります。

